

| 平成 27 年度 岐阜工業高等専門学校シラバス | | | | | |
|---|------------|--|------------------------|-------------|--|
| 教科目名 | ドイツ語 | 担当教員 | 高原清志 | 神谷美砂子 (非常勤) | |
| 学年学科 | 第 4 学年 全学科 | 通年 | 必修 | 2 単位(学修) | |
| 学習・教育目標 | (A-1) 30% | (C-2) 70% | JABEE 基準 1 (1) (a) (f) | | |
| 授業の目標と期待される効果： ① 単語を見て発音できるようになる。 ② 格変化と人称変化を中心にドイツ語文法の基礎を理解する。 ③ 作文と読解力の基礎を養成し、ドイツ語による基礎的なコミュニケーションのための準備をする。 ④ ドイツ語圏の人々の生活、文化、習慣について知識と洞察力を得る。 | | 成績評価の方法： 前期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋課題 50 点 後期：中間試験 100 点＋期末試験 100 点＋課題 50 点 学年：前・後期の重みを等しくして合計し得点率 (%) で成績をつける。なお、成績評価に教室外学修の内容は含まれる。 達成度評価の基準： 以下の項目の総合 6 割以上の正答率 ① 単語を見て発音ができる。 ② 学習対象とした基礎的な文法を理解している。 ③ 基礎的な文章を理解し、既習の単語を使って作文ができる。 ④ ドイツ語圏、ひいてはヨーロッパの生活や文化に理解や洞察力を持つことができる。 | | | |
| 授業の進め方とアドバイス： はじめてドイツ語を学ぶ学習者を対象とした文法読本を教科書として使用し、演習形式の授業を行う。毎回課題を課し、添削指導をする。添削結果を吟味し、理解を深めること。 | | | | | |
| 教科書および参考書： 大谷弘道「新・問いかけるドイツ語」改訂版 (三修社) | | | | | |
| 授業の概要と予定：前期 | | 教室外学修 | | A L のレベル | |
| 第 1 回：das Alphabet 学習の意義と目標 発音の基礎 基本的な挨拶 | | 復習 発音 挨拶 | | | |
| 第 2 回：テキストの読解 動詞の現在人称変化 I (1) 2 人称代名詞 疑問文 (1) | | 復習 動詞の現在人称変化 I (1) | | | |
| 第 3 回：表現練習 動詞の現在人称変化 I (2) | | 復習 動詞の現在人称変化 I (2) | | | |
| 第 4 回：テキストの読解 動詞の現在人称変化 I (3) | | 復習 動詞の現在人称変化 I (3) | | | |
| 第 5 回：表現練習 名詞の性 不定冠詞 定冠詞 疑問文 (2) | | 復習 冠詞類 | | | |
| 第 6 回：テキストの読解 動詞 sein と動詞 haben (1) 定動詞の位置 (1) | | 復習 sein と haben (1) 定動詞の位置 (1) | | | |
| 第 7 回：表現練習 動詞 sein と動詞 haben (2) 定動詞の位置 (2) | | 復習 sein と haben (2) 定動詞の位置 (2) | | c | |
| 第 8 回：中間試験 | | | | | |
| 第 9 回：テキストの読解 定冠詞と不定冠詞の格変化 (1) 名詞の複数形 | | 復習 定冠詞と不定冠詞の格変化 (1) | | b | |
| 第 10 回：表現練習 定冠詞と不定冠詞の格変化 (2) | | 復習 定冠詞と不定冠詞の格変化 (2) | | | |
| 第 11 回：テキストの読解 動詞の現在人称変化 II (1) | | 復習 動詞の現在人称変化 II (1) | | | |
| 第 12 回：表現練習 動詞の現在人称変化 II (2) | | 復習 動詞の現在人称変化 II (2) | | | |
| 第 13 回：テキストの読解 前置詞 (1) | | 復習 前置詞 (1) | | | |
| 第 14 回：表現練習 前置詞 (2) | | 復習 前置詞 (2) | | | |
| 第 15 回：数字の使い方 | | 復習 数字の使い方 | | | |
| 期末試験 | | | | | |
| 第 16 回：フォローアップ (期末試験の解答の解説など) | | | | | |

| 授業の概要と予定：後期 | | ALのレベル |
|-------------------------------------|-----------------------|--------|
| 第17回：テキストの読解 冠詞グループの格変化 | 復習 冠詞グループの格変化 | |
| 第18回：表現練習 人称代名詞の格変化 | 復習 人称代名詞の格変化 | |
| 第19回：テキストの読解 形容詞の格変化 | 復習 形容詞の格変化 | |
| 第20回：表現練習 形容詞の比較変化 | 復習 形容詞の比較変化 | |
| 第21回：テキストの読解 話法の助動詞（1） | 復習 話法の助動詞（1） | |
| 第22回：表現練習 話法の助動詞（2） | 復習 話法の助動詞（2） | |
| 第23回：テキストの読解 話法の助動詞（3） | 復習 話法の助動詞（3） | |
| 第24回：中間試験 | | |
| 第25回：表現練習 分離動詞（1） | 復習 分離動詞（1） | |
| 第26回：テキストの読解 分離動詞（2） | 復習 分離動詞（2） | |
| 第27回：表現練習 従属の接続詞 副文（定形後置） | 復習 従属の接続詞 副文（定形後置） | c |
| 第28回：テキストの読解 動詞の3基本形 | 復習 動詞の3基本形 | b |
| 第29回：テキストの読解 過去人称変化（1） | 復習 過去人称変化（1） | |
| 第30回：表現練習 過去人称変化（2） 疑問詞 was と前置詞の融合 | 復習 過去人称変化（2） | |
| 第31回：複文の語順 | 復習 複文の語順 | |
| 期末試験 | | |
| 第32回：フォローアップ（期末試験解答解説など） | | |

評価（ルーブリック）

| 達成度 評価項目 | 理想的な到達 レベルの目安 (優) | 標準的な到達 レベルの目安 (良) | 未到達 レベルの目安 (不可) |
|-------------|--|--|---|
| ① | 単語を見て発音する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。 | 単語を見て発音する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。 | 単語を見て発音ができない。 |
| ② | 学習対象とした基礎的な文法事項に関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる | 学習対象とした基礎的な文法事項に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる | 学習対象とした基礎的な文法を理解していない。 |
| ③ | 基礎的な文章理解、既習の単語を使って作文する問題をほぼ正確に(8割以上)に解くことができる。 | 基礎的な文章理解、既習の単語を使って作文する問題をほぼ正確に(6割以上)に解くことができる。 | 基礎的な文章を理解できず、既習の単語を使って作文ができない。 |
| ④ | ドイツ語圏、ひいてはヨーロッパの生活や文化に理解や洞察に関する問題をほぼ正確(8割以上)に解くことができる。 | ドイツ語圏、ひいてはヨーロッパの生活や文化に理解や洞察に関する問題をほぼ正確(6割以上)に解くことができる。 | ドイツ語圏、ひいてはヨーロッパの生活や文化に理解や洞察力を持つことができない。 |